



茨木市CSW 活動報告書 2024

令和6年 茨木市コミュニティソーシャルワーク協議会

目次

目次	1
ごあいさつ	2
コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業とは	3
こんにちは！私たちは、茨木市のCSWです！	4
茨木市健康福祉セーフティネット	5
CSW 座談会！～地域の声から見える課題とヒント～	6
要援護者に対する個別相談支援業務実績	12
CSW 協議会と部会活動	14
こんなこと、ありませんか？ チラシ	17
いきいきネット相談支援センター 一覧表	18
表紙について	19

ごあいさつ

日頃より、地域福祉に対するご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。このたび、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)事業の活動報告書をまとめました。CSWは、住民の皆様が安心して暮らせるよう、地域に密着した支援に取り組んでいます。近年、孤独や孤立が社会問題となる中、地域とのつながりを大切にした活動を進めてまいりました。さらに、市民生活を直撃する物価の高騰が日常生活に大きな負担を与える状況となっています。このような状況だからこそ、地域福祉が暮らしを支える重要な役割を果たしていると感じています。これからも地域の声にしっかりと耳を傾け、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指して努力してまいります。

福祉部 福祉総合相談課長 岩崎 友昭

日頃より、茨木市コミュニティソーシャルワーク協議会の活動におきまして、多大なるご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。この度、6年度の活動報告書をお届けできることを、嬉しく思います。私どもCSWは、地域ごとの特性に寄り添いながら、住民の皆さまと信頼関係を築き、安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいりました。日々の対話や小さな気づきの積み重ねが、新たな支援や仕組みの創造へとつながっています。本報告書が、地域福祉を共に考える一助となれば幸いです。今後ともご理解とご協力の程、よろしく願いいたします。

茨木市コミュニティソーシャルワーク協議会
会 長 神野 享士

コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業とは

平成15年3月大阪府は、社会福祉法に基づく都道府県地域福祉支援計画として「大阪府地域福祉支援計画」を策定し、その中で、地域における見守り・発見、つなぎを行う「地域保健福祉セーフティネット構想」を示しました。その後、府の健康福祉分野の単独施策を整理し、再構築を図るため、平成16年2月に「大阪府健康福祉アクションプログラム」を策定し、改めて「地域の健康福祉セーフティネット」を重点施策として位置づけ、平成16年7月に「コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業実施要綱」を制定しました。この事業は、平成20年度で廃止となりましたが、茨木市では引き続き高齢者、障害者、ひとり親家庭など援護を必要とするあらゆる方々（要援護者）やその家族への支援を通じて、福祉の向上のための基盤づくりを行い、健康福祉セーフティネット（いきいきネット）の構築を図ることを目的として事業を継続しています。

本市では「茨木市コミュニティソーシャルワーカー配置事業実施要綱」に基づき、社会福祉法人やNPO法人などに事業を委託して、平成18年4月から2～3小学校区ごとに計14か所に「いきいきネット相談支援センター」を設置し、それぞれに1名のコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置しています。

こんにちは！私たちは、茨木市のCSWです！

『コミュニティソーシャルワーカー
C S W』とは？

コミュニティ＝地域社会、暮らしの場
ソーシャルワーカー＝生活する中での困りごとを
一緒に考えサポートをする人



★生活の中の困り事、お悩み、気になる事…
あらゆるご相談について一緒に考えていきます！

★既存サービスがないのなら…
仲間と一緒に作ります！

★住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けられるよう、
茨木市健康福祉セーフティネット会議等を通じて、
地域の方々と意見やアイデアを出し合います！



スーパー
ご近所さん！

とも呼ばれています😊

地域に笑顔が広がるように
あたたかな信頼関係を築いていきます。



茨木市健康福祉セーフティネット

茨木市健康福祉セーフティネット＝いきいきネットとは

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、高齢・障害・ひとり親家庭・困窮などで社会的援護が必要になっても孤立することなく、支え合う地域社会を目指す体制が、茨木市健康福祉セーフティネット＝いきいきネットです。

セーフティネットの機能

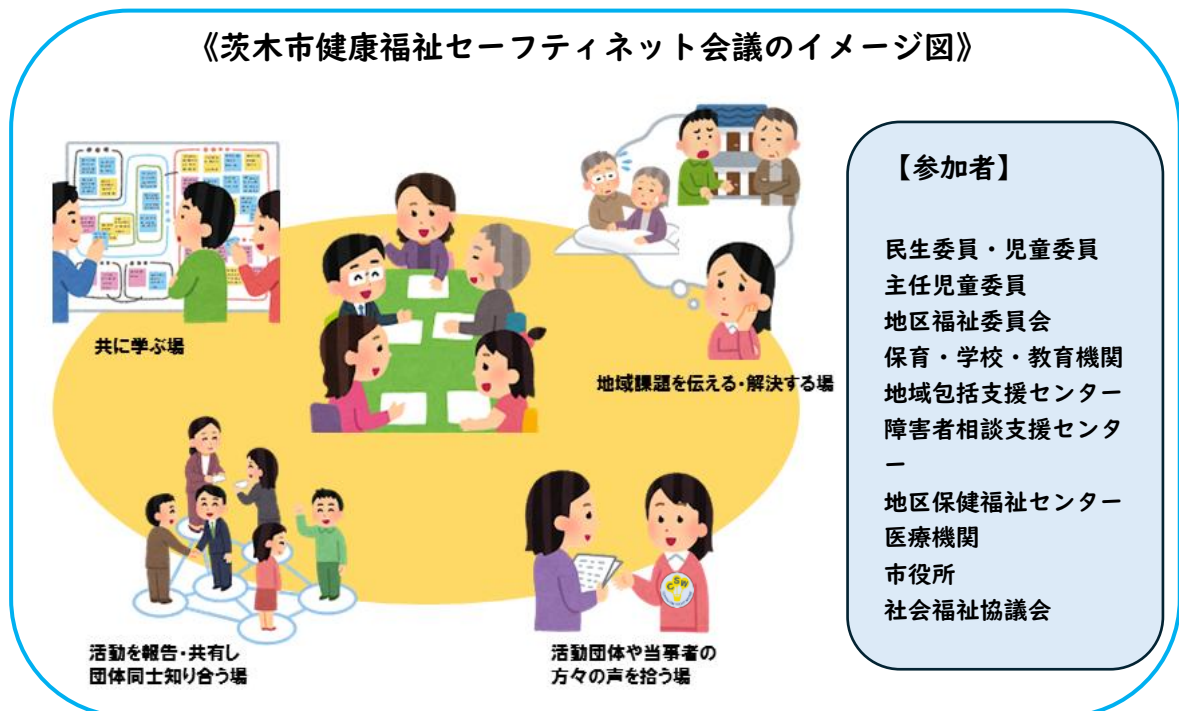
- ① 身近な相談窓口にて、発見・予見のできる体制を作ります。
- ② 地域での総合的な相談支援の仕組みをつくります。
- ③ 要援護者の声を受け止め継続的な支援を行います。

健康福祉セーフティネット会議について

健康福祉セーフティネット会議は現在、茨木市内32の全小学校区にて、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）が事務局となり定期的に開催しています。対象を限定しないで危機介入から日常生活支援まで幅広いケースに対応したり、地域課題について検討や専門家を招いて勉強会を開いたり、地域性に応じた内容で進めています。

誰もが安心して暮らせるよう、住民主体で解決すべき問題・共通課題に取り組む過程で、地域力を高めていくことを目的に行っています。

《茨木市健康福祉セーフティネット会議のイメージ図》



CSW 座談会！～地域の声から見える課題とヒント～

異なる地域で活動する CSW が、それぞれの現場で日々感じている課題や支援の工夫について語り合う中で、共感が広がり、思いがけない気づきも生まれました。その一部をご紹介します。

買い物に焦点があたり、話が展開し・・・



「最近、“買い物がしんどい” っていう声、ほんまに増えてるよね。私のエリアは坂道も多いし、バスも少ないし…年々困っている人は多くなっている」



「うちの地域では、デイサービスの送迎車を空き時間に使って、スーパーまで送ってる社会福祉法人があるよ。すごく助かってるって！」



「社協さんのカーシェアリングを利用して、福祉委員さんの運転でアルプラザ茨木店まで送迎してくれる『レッツ号』も活用されてるよね。店舗でもレッツ号が走る日は、乗り入れしやすい駐車場を準備してくれるとか、できることをできる人や団体が協力している！無理なく継続している地域のかっこいい」



「うちのエリアで『近くにお店が無いので、日常の買い物ができない…』っていう声にコープこうべの『買いもん行こかー』があるよ。希望者が 30 人くらい集まれば運行してくれるみたい。」



「買物困難者を救う『移動スーパーとくし丸』も人気！お刺身、寿司、惣菜、お肉、野菜・果物、パン・お菓子、日用品…軽トラにたっぷり！助かっている人多いわ」





「ご近所で『買い物、一緒に行こか?』って自然に声かけ合える関係、ステキやね。特別なことをしなくても「ちょっと声かけてみよか」って思える空気があるだけで、暮らしがぐっと豊かになるよね。買い物だけじゃなくて、「おすそ分けしよか」「ちょっとお茶でも飲もか」っていう日常のやりとりが、地域の絆を育ててくれる。」



「市が巡回バスを出してくれたら、もっと便利になると思う。もっと言えば、荷物も玄関まで届けてくれると安心やね」



「でも、車両の数や運転手の確保って、どこも大変みたい…とくし丸は新しいエリアを回るとは難しいって聞くよ。ご近所送迎も事故が起きたらどうする?って不安もあるね」



「どの買い物支援も、“物”を届けるだけじゃなくて、“人と人とのつながり”を生む支援なんやなって改めて思った」



「声をかけ合える関係があるだけで、安心感って全然違うよね。たとえば、災害が起きたときも、普段から「お隣さん、元気かな?」って気にかけて合える関係があると、助け合いもスムーズになるし、心の余裕も生まれる」



「CSWとして、地域の声を拾って、つなげていく役割をもっと大事にしていきたい。ちょっとしたつぶやきや、何気ない雑談の中にこそ、支援のヒントが隠れていることって多いよね」



「小さな気づきやアイデアを、地域の力に変えていけるように。これからも、みんなで知恵を出し合っていこう!そのためにもセーフティネットで顔合わせることって本当大事よね」



既存のつながりの強さと、新しい風を入れる工夫について・・・



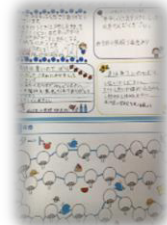
「うちの地区、昔ながらのつながりが強くて若い人が入りづらい所なんです。昔からの文化や行事があって、新しいことをするには難しい雰囲気がある感じで…」



「それ、うちも似てる！でも、防災活動を通じて世代を超えた交流が生まれているよ。担い手不足の課題がある自主防災会が、子どものうちから地域活動や防災について考えるきっかけになったら、と中学校で防災セミナーを実施したよ。中学生には宿題もだして、①「授業でこんな話聞いたよ」と、家族に話してもらおう②防災について家族で話し合う…例えば、災害時にスマホが使えない場合は家族の集合場所はここにしよう！とか、私は知らなかったけど、防災リュックを親が用意していた。とか、子どもから親を巻き込んで、若い人に広めることに成功したよ！」



「つながりのきっかけになるような取り組みを…ってセーフティネットで話題になり、子どものメッセージと飲み物とか食べ物の有効じゃないかな？って話になって、小学生にメッセージや絵を描いてもらって、チャレンジカードを作成して、大阪よどがわ市民生活協同組合さんに提供していただいた麦茶のパックを持って高齢者のお宅を訪問。水分を摂ったらカードにシールを貼る熱中症予防キャンペーンをやってみたら、いろんな人がつながりを持ち、地域の活動に参加するきっかけになったことがあるよ！」



「CSW も地域の価値観をまず受け入れることが大事よね。キーパーソンと関係性ができると、少しずついろいろなところで風通しが良くなる気がする」



「歩いて行ける距離で気になる！と思うようなメリットのあるイベントがあると、若い人も参加しやすいよね。CSW が地域に“入り込む”って、何か作り出すきっかけとして大事やと思う」



「府営住宅や低価格な賃貸住宅も幅広くいろんな世帯を受け入れている分、課題も感じるよ。様々な地域から多様な世帯が入居し、つながりがない人など、ひっそりと課題を抱えている家庭が多いなあ」



「うちでは、団地内に週 1 回の相談窓口を設けてるよ。地域の安心の柱になれたらいいなと思って、間口を広げて気軽に入って話できるように工夫しているよ。まずは話を聞いて、課題を細分化してできることから整理してる。必要があれば関係機関へつないでる」



「相談会はないけど、地域包括支援センターやケアマネージャーと連携して、協働でアプローチするのも効果的だし、関わりもスムーズよね。引きこもり支援では、親御さんと仲良くなるのも大きな一歩」



「子ども関係では、生まれたときからフォローできる体制が理想よね。保健師や子育て支援センターから CSW に情報が届く仕組みがあれば、もっと早く動けることもある」



「あと、うちは子ども向けの資源がほんまに少ない。ご近所での遊び場も居場所も足りてない。どうしてる？」



「学校や保育所の空き教室を使って、地域の活動ができたらいいよね。うちのエリアでは、中学校の教室で子育てサロンを開催したよ。中学生や子育て世帯、高校生や大学生、地域住民のボランティアが交流する機会、中学生が主体的に進行に携わって大型絵本の読み聞かせや、防災クイズを披露してくれたり。12月に開催したから、中学生と校長先生、教頭先生がクリスマスコンサートしてくれたよ。『地域でみんなで子育て!』を実感した瞬間だった。参加者みんなが笑顔になる取り組みができたよ」



高齢化・空き家・居場所不足の話題になり・・・



「北部地域は高齢化が進んで、山間部集落の活動がなかなか続かない状況。年々地域のつながりが弱くなってきている感じがある。みなさんのエリアはどうですか？」



「つながりでいくと、月に1回ひとり暮らしの方等7人程度が集まってごみ拾いを通して、ゆるやかなつながりができているよ。つながりの再構築かな」



「うちのエリアの自治会で、老人会の立ち上げは規約など手続きに難を感じた人たちが、高齢者の茶話会を自治会会館で立ち上げたと聞いているよ。月に1回お茶しながら世間話。専門職も呼ばれて話したり」



「大学と連携して、学生ボランティアが高齢者宅を訪問したり、子ども食堂を手伝ったりしている事例もあるよね。若い世代との交流が生まれるのは大事だし、出会いがあるとなんだかワクワクする！」



「元気な高齢者が持っているスキルを地域でシェアできたらいいよね。裁縫や園芸、料理とか。教える場があると、生きがいにもなるし」



「ボランティアサークルを立ち上げて、ゴミ出しや庭の手入れを助け合う仕組みがある地域もあるよね。そうした活動のお礼として、地方自治体や企業、NPOなどが独自に地域通貨を発行することがある。地域経済の活性化や地域内での資金の循環、さらには住民同士の交流促進や相互扶助を目的としているんだよ。面白い仕組みだよね！」



「うちのエリアでは小さな女性グループがあって、定期的に季節の料理や手芸など教え合っていると聞いているよ。無理なく続く小さなつながりって良いよね。ホッとするよね。」



「空き家も増えているよ。長い間、空き家状態が続くとイタチや野良猫など動物が住み着いたり、農機具や工具類、最近ではニュースにもなっている銅やアルミなどの金属が目的での室外機や給湯器の盗難が起きたり…その周辺の治安に対して不安になる」



「空き家は治安にも関わるから、見守りの目を増やすためにも空き家をサロンやコミュニティカフェに活用している地域もあるよね。人が集まる場所ができると自然と見守りや防犯にもなるしね」



「空き家所有者向けのセミナーを開いて、利活用の方法を伝えるのも効果的。専門家の話を聞ける場があると、意識も変わるよね」



「空き家が“負の遺産”じゃなくて、“地域資源”として活かされるようになったら、移住者も呼び込めるし、地域が元気になると思う」



「うちのエリアでは、健康麻雀を打てる場所が少ないっていう声も聞くよ。高齢者の楽しみの場が限られている」



「公民館や集会所を使って、健康麻雀の場を設けている地域もあるよ。麻雀卓の貸し出し制度もあったりして」



「小学生でもブームになっているらしいし、初心者向けの麻雀教室を開いて、参加のハードルを下げる工夫もいいよね。世代を超えた交流にもつながるし」

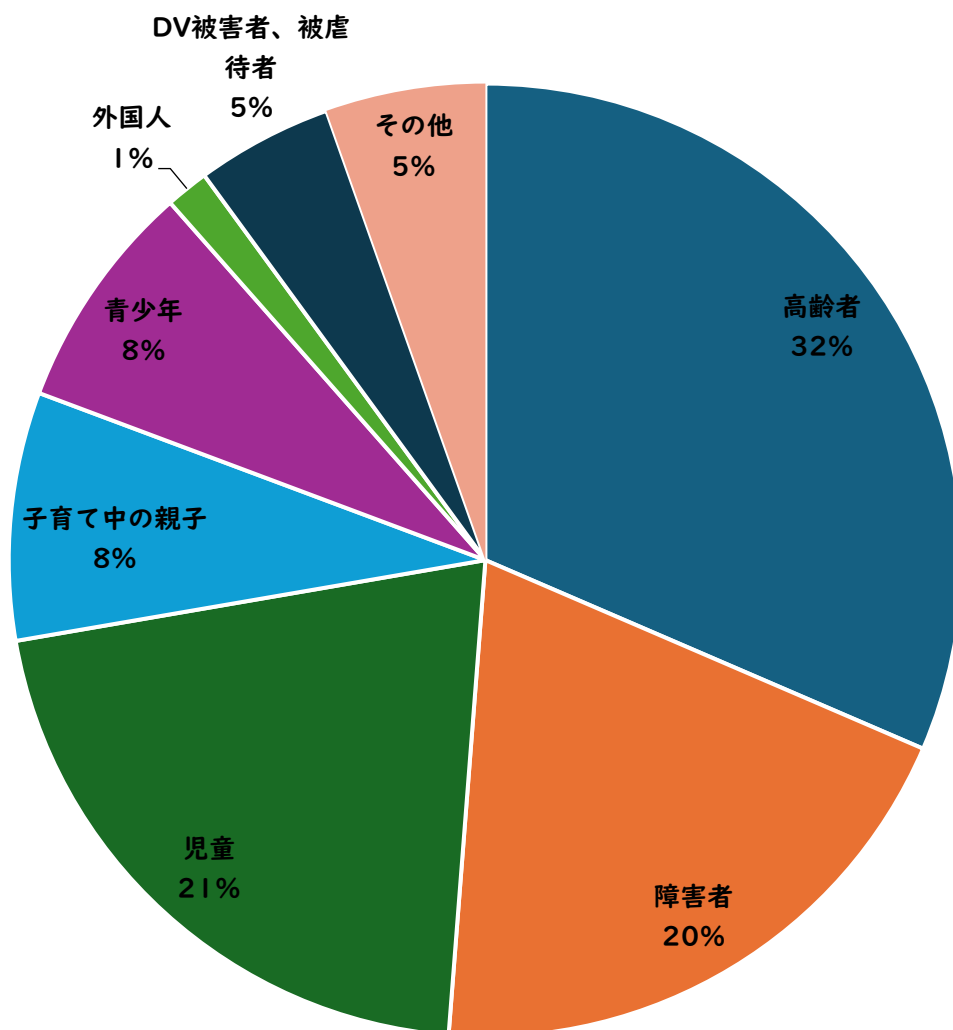


「健康麻雀大会とか、地域全体で楽しめるイベントが定期的にあると、生きがいにもなるし、地域の活気にもなるよね」



要援護者に対する個別相談支援業務実績

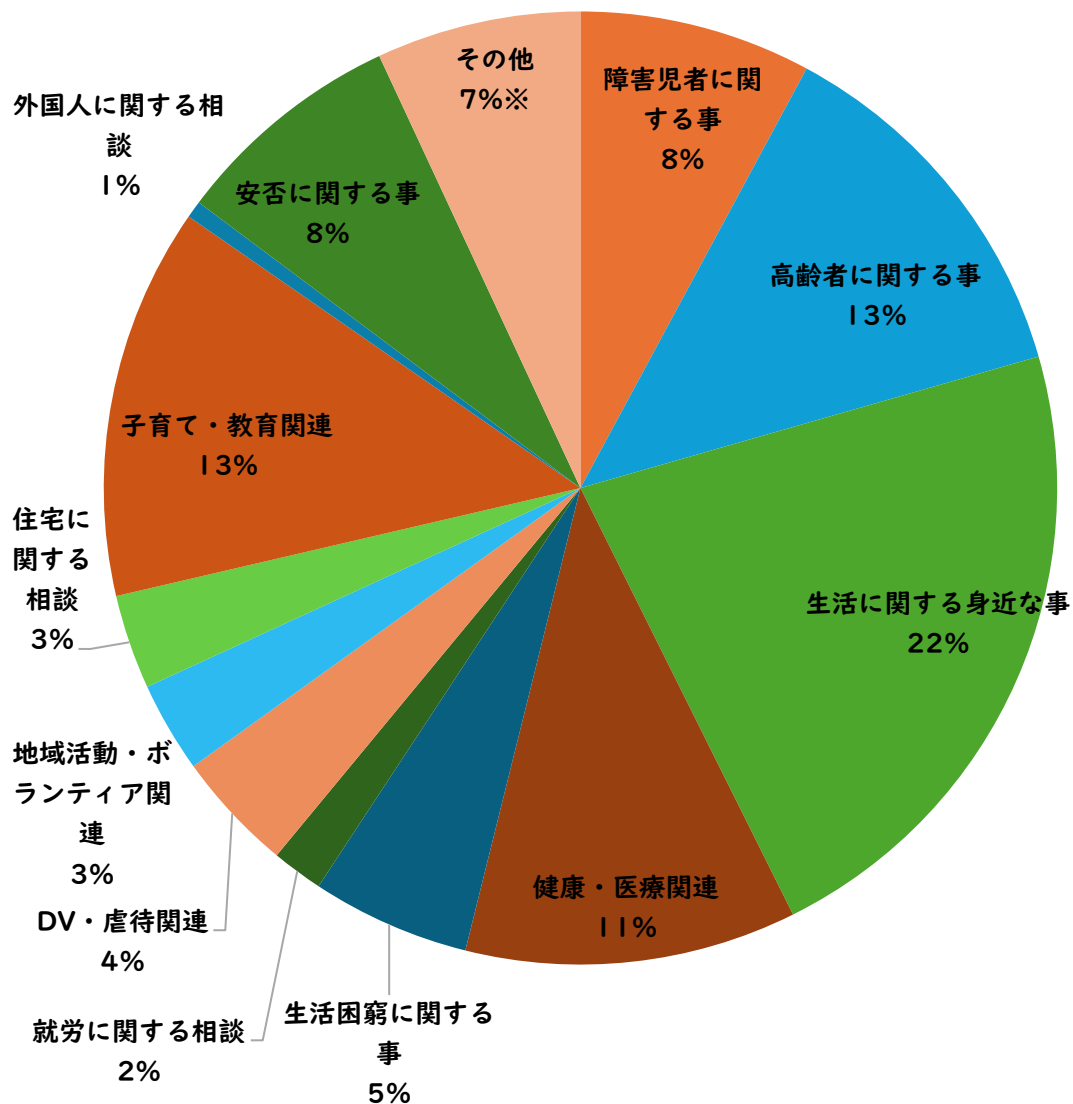
令和6年度の相談者数は 3,695人



相談対応延べ件数
26,232件

個別の相談支援の傾向について、高齢者の方の相談支援32%に次いで、児童が21%を占めています。小中学校、保育所や幼稚園などからもつながることが多く、不登校や虐待、ヤングケアラーについての相談支援も増えています。

相談内容



※『その他』には、その他の福祉制度に関する相談（2.3%）、年金に関する相談（0.3%）、財産管理・権利擁護に関する相談（0.9%）、消費者問題に関する相談（0.3%）、ローン・多重債務に関する相談（0.6%）、当事者組織に関する相談（0.1%）などが含まれています。

CSW 協議会と部会活動

毎月定例で市内の CSW が集まり協議会を運営しています。地域住民が安心して暮らせるよう、CSW 同士や関係機関との連携を強化し、支援活動の質を高めることを目的としています。主に、活動の可視化と広報、地域住民との接点強化、CSW 育成と支援の三本柱で活動を行っています。

周知部会

CSW 協議会では毎年「CSW 活動報告書」を作成し、お配りしております。日頃から私達の活動にご協力いただいている皆様には「いつも本当にありがとうございます！」という感謝の気持ちを、私達のことを知らない方々には「初めまして、ぜひ私達のことを知ってください！」と言うご挨拶の気持ちを込めて作りました。より多くの方々に届くよう、茨木市のホームページにも掲載しています。



【表紙】

茨木市在住のアーティストの方と話し合い、CSW の活動にピッタリの素敵な表紙をデザインしていただきました！

【困り事を地域でサポート】
CSW と地域の皆さんで作上げたオリジナルの活動をご紹介します。

地域内でオリジナル組織化

誰もが望む生活に少しでも近づけるように
地域の中でオリジナルな組織化をお手伝いします



子ども達を見守る 温かい支援の輪

子ども達の生活場面には大人の見守りや手助けが必要です。子育て世帯が孤立しないよう、地域でどのようにサポートができるでしょうか？
CSW は学校・地域と連携し「温かい支援の輪」を作るお手伝いをします。



【皆で子ども達を見守る】
学校・地域で子育てを応援！先生方からも温かいコメントをいただきました。

福祉活動交流会部会

日 時：令和6年12月6日(金)14時～16時

場 所：茨木市役所 南館 10階大会議室

参加者：106名（講師・CSW含まず）



民生委員・主任児童委員・福祉委員・自治会・自主防災会・寺院/教会・
地域包括支援センター・障害者相談支援センター・地区保健福祉センター・市役所

テーマ：こんな時代（とき）だからこそ、つながりで備えよう！

目的：少子高齢化・価値観の多様化が進み、地域での福祉活動にも様々な課題が浮上している。また、地震や台風、風水害への備えが必須の昨今、誰もが住み慣れたまちで安心して暮らすための、顔の見えるつながりの重要性が高まっている。そこで今回は、同じまちで暮らす私達で命と健康を守る仕組みを考えることを目的とする。

内 容：①開会・趣旨の説明後、テーマを共有

*人と防災未来センターに学ぶ…防災ビデオ「地域で減災！」の鑑賞

*茨木市の取り組みを知る…危機管理課による講話

②グループワーク

共助に焦点を当て、つながり構築のアイデアを出し合い、標語を創る。

③発表（全体で共有）→アンケート・閉会



茨木市 CSW の
ページより
ダウンロード可

市内各地区でご活躍の方々が5年ぶりに一堂に会し、18グループそれぞれで活発な意見交換が行われ23の素敵な標語が生まれました。今交流会の成果物として、いざというとき役に立つ「減災虎の巻」を作成しています。非常時の被害を最小限に抑え、自分と大切な人の生活を守るために必要なことをまとめているので、家族や住んでいる地域の状況に応じて定期的に見直しながら、市民の皆様を活用してもらえると幸いです。

スキルアップ部会

制度の狭間にある方や複合的な課題を抱えるケースへの個別支援、それぞれの地域性に応じた地域支援、関係機関との連携など、CSWは幅広い相談支援業務を担っています。日々の実践の中で悩みながら経験を重ね自己研鑽に努めています。

CSW協議会としてスーパービジョン（以下、SV）を受けられる体制が整い、スキルアップ部会では前年度の取り組みを踏まえ、実践に必要なかつ専門性が問われる分野の先生方にスーパーバイザーを依頼し、下記の通り企画・実施しました。

業務の合間を縫って学び合った知識と技術は、各CSWの資質向上やモチベーションの維持・向上に寄与し、現場での課題解決にもつながっています。

- 主な活動：4月 必要なスキルを身に付けられるよう、年間活動計画を立てる。
5月 スーパーバイザー依頼及び打合せ・SV開始
9月 自己点検表（前期）の実施及び集計
2月 自己点検表（後期）の実施及び集計
3月 振り返り・次年度に向けての打合せ

スーパーバイザー及びSVの概要：

① 精神科医 川島 文雄 氏

精神疾患や、その疑いのある対象者に関わる際の対応や、精神医療に関する情報について、実際の事例を通して助言をいただく（フィードバック含め計4回）。

② 追手門学院大学社会学部社会学科 教授 古川 隆司 氏

地域課題の抽出・分析・解決に向けた取り組みについて、前年度に引き続き課題解決型ワークショップを実施（計2回）。

③ 茨木市子ども・若者自立支援センターくろす 管理者 上村 喜代栄 氏

子ども若者支援における「虐待」と「依存」について、ポイントを絞った講義をしていただく（1回）。

④ 東京都立大学人文社会学部 准教授 室田 信一 氏

地域共生社会の創造において必要な知識や技術について、将来を見据えた「茨木市オリジナルのCSWの在り方」を考えながら学ぶ研修会を実施していただく（オンライン2回、対面1回）。

⑤ アマチュア落語家 喜怒家 哀楽 氏（磯村 昌宏 氏）

話術のスキルを磨くために、落語家である喜怒家哀楽氏に「信頼関係を育む言葉のチカラ」についてユーモアを交えた講義をしていただく（2回）。





こんなこと、ありませんか？

詐欺にあわないか心配…



生活するお金に
困っている…



外に出るのが怖い…



不安で眠れない…



あなたやあなたの近くの方が
抱えている困りごと
まずは“はなすこと”
から始めてみませんか？

もしかして依存症…？



物忘れがひどくなった…



ストレスで暴言・暴力を
ふるってしまいそう…



手続きが難しい…



相談は無料です！ 秘密は守ります！

CSWは住民の皆さまの不安や困りごとをうかがい、解決に向けて一緒に考え、必要な支援につなぐ福祉の専門職です。お気軽にご相談ください。

※茨木市の委託により、市内14か所にCSWが配置されています。
担当エリア（小学校区）については、裏面をご覧ください。

いきいきネット
相談支援センター



いきいきネット相談支援センター 一覧表

担当小学校区	施設名称	CSW	連絡先	
清溪・忍頂寺・ 山手台	やまゆり苑	しみず 清水	大字泉原37-6	090-5122-6613
安威・福井・ 耳原	天兆園	ふくずみ 福隅	安威二丁目10-11	072-640-3970
豊川・郡山・ 彩都西	常清の里	たむら 田村	清水一丁目28-22	072-646-5601
太田・西河原	天兆園	たかはし 高橋	安威二丁目10-11	090-7365-9229
三島・庄栄	M-CAN (ミカン)	くまき 熊木	総持寺駅前15-21	080-2430-5342
東・白川	エルダー	かみの 神野	庄二丁目7-38	080-8946-3999
春日・郡・ 畑田	ビーベル	くぼ 久保	上穂積一丁目2-27	072-622-0166
沢池・西	春日丘荘	あらた 新田	南春日丘五丁目1-8 西保健福祉センター内	080-3215-6096
春日丘・穂積	静華苑	みこがみ 神子上	見付山一丁目11-1	072-665-6678
茨木・中条	茨木市社会福祉協議会	しんみ 新見	東中条町2-13 茨木市合同庁舎5階	080-4294-2331
大池・中津	茨木市社会福祉協議会	おおしま 大嶋	東中条町2-13 茨木市合同庁舎5階	080-4294-2296
玉櫛・水尾	あしはら	くぎしま 釘嶋	沢良宜東町14-31 シャトーかわもと1階	072-636-6088
玉島・葦原	茨木市南保健福祉センター	ふくだ 福田	新和町21-27 南保健福祉センター内	072-630-2550
天王・東奈良	南茨木	つばい 坪井	東奈良三丁目16-14	080-4169-5540

2025年9月現在



表紙について

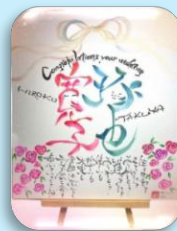
市内在住のアーティストの **とくゆみさん** に表紙のデザインをお願いしました。地域の中で感じる「お互い様」「互いに支え合う関係」をイメージした表紙ができました。



紡ぎ筆セラピー とくゆみ

お名前アート、キーホルダー、メッセージカード等、作品多数。
お客様と言葉を紡ぎながら、いろいろな形をお作りします。

詳しくは下記のQRコードからご覧ください！





発行：茨木市コミュニティワーク協議会 編集：令和7年度 周知部会

熊木 愛奈	いきいきネット相談支援センターミカン
神野 享士	いきいきネット相談支援センターエルダー
福隅 友美	いきいきネット相談支援センター天兆園
神子上 暁	いきいきネット相談支援センター静華苑
久保 麻美	いきいきネット相談支援センタービーベル